

氏名	選出区分	氏名	選出区分	氏名	選出区分	氏名	選出区分
会長 青木 茂道	青少協協力者	中尾 真純	青少年指導員	石澤 仁子	青少協協力者	吉岡 真代	青少協協力者
副会長 猪野 恭子	〃	大館くるみ	〃	内田 啓次	〃	三觜正一郎	〃
副会長 窪田 園子	指導員・保護司	杉山 織愛	〃	鈴木 瑞穂	〃	伊藤 美樹	〃
会計 佐藤 早雪	青少協協力者	西川 彩子	〃	越後屋由美	〃	小野田孝子	明治小学校長
会計 中田 幸江	〃	山下 花織	〃	山崎たか子	〃	山崎 晋治	羽鳥小学校長
監事 三觜 壽則	民児協	小林 美幸	主任児童委員	京谷由紀子	〃	瀧谷 典子	八松小学校長
監事 鈴木 和臣	青少協協力者	市川 孝治	民児協	瀬戸 裕子	〃	大石 由佳	明治中学校長
書記 水澤 愛	青少年指導員	新田 次郎	〃	泉山ゆかり	〃	深津 礼子	羽鳥中学校長
書記 中山 法子	青少協協力者	小河愛由美	〃	小林真紀子	〃	上條 悠輔	明治小保護者
相談役 青木小四郎	〃	田中みゆき	〃	徳留美代子	〃	加藤 留衣	羽鳥小保護者
窪田恵津子	〃	神谷佳代子	〃	川崎 静香	〃	成田 麗	〃
宇久田進治	〃	西山 千秋	保護司	中田英美子	〃	芳賀美智子	八松小保護者
重政 孝子	〃	山田 淳子	青少協協力者	三浦 真弓	〃	吉川 尚子	〃
秋田 典子	主任児童委員 青少年指導員	永井 洋一	〃	笹森 幸治	〃	福家 大輔	明治中保護者
安村 雅子	青少年指導員	海東 保文	〃	武田 澄江	〃	城戸みゆき	羽鳥中保護者
綾部由美子	〃	峰尾 勇	〃	新井 悦子	〃	若林 理恵	CSW 明治地区担当
市川美智代	〃	大畑美佳枝	〃	三觜たか子	〃	藤田 太郎	八松小おやじの会
齋藤美江子	〃	末永ゆかり	〃	宮 由紀	〃	*鈴木 修	民児協
塚本 博美	〃	山崎実穂子	〃	山本 暢子	〃	*榎本 公司	〃
大波 直子	〃	中村 淳子	〃	北村菜央子	〃	*端山 徳子	〃
越 美紀	〃	阪井 隆	〃	柴田 千歳	〃		
香取 純子	〃	上野 悦子	〃	三觜 恵加	〃		

*令和7年12月より
青少協に加入しました。

青少協研修 2026年1月20日

足立区「ギャラクシティ こども未来創造館」へ

曇天、強風、身を切るような寒さの中、西新井駅近くのギャラクシティに行きました。ここは東京・足立区が運営する、子どもたちが遊びながら学べる体験型複合施設です。

正面入口の右手に本格的クライミングウォールがそびえています。その前で集合写真をパチリ。左手には日本最大級のネット遊具があり、見ただけで大人でも興奮するほど。実際に入ってみると足元が不安定で歩くのもやっと、上下行き来したらもう汗だくです。

また大きなプラネタリウムがあり天文の世界を楽しむことができます。ほかにも床や柱を自由に「お絵かき」できるスペースや映像で遊べるコーナーがあり、園児たちが夢中になって遊んでいました。ストリートピアノもあって演奏を楽しんでいる人も。子どもから大人までワクワクが止まらない素敵な施設でした。

見学後、西新井大師にお参りをしして帰路につきました。



♡編集後記♡

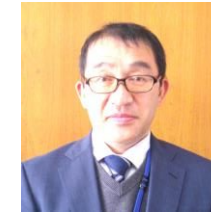
今年度も全ての行事を子どもたちと一緒に楽しむことができました。今後も子どもたちの笑顔のため、学校、家庭、地域が一丸となり、取り組んでいきたいと思っています。(M.K)

2026年(令和8年)
3月31日
明治地区青少年育成協力会
発行責任者 青木 茂道



地域とともに
子どもたちを育てる

藤沢市立羽鳥小学校
校長 山崎 晋治



毎朝、同じ場所、同じ時間に、子どもたちに声をかけてくださる方々があります。「おはよう!」「気をつけていってらっしゃい!」「今日は元気ないね…大丈夫?」おはようボランティアの皆様です。暑い日も寒い日も、子どもたちが安心して登下校できるように見守ってくださっています。ほかにも、同じように子どもたちを見守ってくださる方々がたくさんいます。明治市民センターや地域子どもの家では、温かく子どもたちを見守りながら、楽しいイベントを開催してくださっています。また、保護者の皆様には、自分のお子さんはもちろんのこと、お子さんのお友達にも声をかけていただき、励まし、助けていただいています。

そのような日常を、子どもたちは意識していないかもしれませんが、ごくごく自然に感じている子もいると思います。しかし、大人になった時に、「自分は周りの人に支えてもらっていたのだな」ということに、気づくこともあるのではないのでしょうか。そして、そのような気づきが、「今度は自分たちが周りの人たちを支えていこう」という気持ちにつながるのかもしれませんが、私自身羽鳥小学校に着任してもうすぐ1年になりますが、そのような土壌が、この明治地区にはあるということ、強く感じられた1年でした。

保護者の皆様や地域の皆様には、子どもたちのよりよい成長のために、多大なるご理解とご協力をいただいております。本当にありがとうございます。これからも「地域とともに子どもたちを育てる」そんな学校であり続けていきたいと思っています。



〈羽鳥小学校〉

CSW ってなに?

CSW 明治地区担当
若林 理恵



「コミュニティソーシャルワーク」はイギリスで生まれた考え方で、個人だけでなく「地域(コミュニティ)」全体に焦点を当て、地域を基盤とした支援活動を行うことを目指すとあります。

藤沢市は「藤沢型地域包括ケアシステム」の取り組みを進めるために、2016年からCSWの配置が始まり、明治地区は2019年に配置、2020年には藤沢市全13地区に配置されました。私たち藤沢市社協のCSWは地域に暮らす様々な困りごとを抱える住民一人ひとりに寄り添い、相談に応じながら、必要な制度や地域資源につなぎ、個別支援と地域づくりの両面から「誰もが安心して暮らせる地域」を一緒に実現する、人と人、人と地域を繋ぐ専門職です。

CSWが青少協の委員として活動させていただくことになった先駆けは、明治地区でした。子どもたちのために活動されている青少協の皆さんとともに、微力ながら行事などの活動をさせていただいたことで「地域や地域の子どもたちの現状」を学び、交流する機会をいただきました。そして、なによりとても楽しいです!

私自身も人生の岐路で様々な専門家に相談してきた経験者です。ひとりで抱え込まず、誰かに話すことで、気分が晴れる、自分自身の気持ちの整理ができることもあります。どんなことでも気軽にご相談ください。

これからも、皆さんと一緒に行事や活動を通して明治地区の未来ある子どもたちや保護者の皆様と、楽しく過ごすことができるよう、少しでもお役に立つことができれば幸いです。



春のハイキング 2025年3月27日 参加者 66人

子どもたちを乗せたバスは横浜・旭区のズーラシアに着きました。私たちは桜が咲き始めた大テントの前で集合写真を撮った後、班行動に移りました。

今年のクイズラリーは、8つのゾーンをめぐる動物たちを見つけ動物名・属性・名前・選んだ理由などを書き込んでいきます。ほかに5つの難問もありました。

広大な敷地のなか地図を片手に進みます。アジア熱帯林で見つけたスマトラ虎、ガラス越しに見たホッキョクグマは亜寒帯の森で見つけました。オセアニアの草原ではレッサーパンダ、アマゾンの密林で見たヤブイヌは怖かった。サバンナでは鷹のバードショウも見ました。

歩くより小走りに移動、ほかの班との情報交換もあり、みんなそれぞれに課題をクリアしている姿がとても頼もしかったです。沢山歩いて疲れているかと思いましたが、集合時間まで走り回っている姿を見てほっとしました。



夏のキャンプ 2025年8月8日～9日 参加者 31人

1泊2日で静岡県朝霧高原へ行ってきました。高原の爽やかな天気恵まれて、恒例のハートランド朝霧の牧場で、乳しぼり体験や、電線のない広場で思いっきり走り、手作り凧をあげることができました。

夜は7年ぶりのナイトウォークで、流れ星に遭遇！班ごとに真っ暗闇のコースを懐中電灯を頼りに進んで行くと、分岐点で迷わないよう立っていてくれた従事者が「お化け」に扮していた姿が怖くて、みんな大騒ぎでした。

参加してくれた学生ボランティアの二人も大活躍！学年が違う仲間と、日常ではなかなかできない体験をした楽しい2日間でした。



青少協音楽会 2025年11月29日 出演者数 明治中 49人 羽鳥中 40人 鶴沼高 14人 来場者数 93人

今年は前日に諸準備を終え、静かに当日を迎えました。羽鳥中は“心に残る音楽”をモットーに息のあった演奏、明治中はソロやパフォーマンスを含めた演奏でした。

創立100周年を迎える鶴沼高校は今回が初参加、12人の小さな合唱団ながら、宮沢賢治の手紙を合唱にした曲など、大人の雰囲気観客を魅了しました。詩情あふれる朗読もあり、まさに芸術の秋を堪能しました。



青少協
この一年

子どもたちの
笑顔とともに

青少協（チームMeiji）のミッションは
活動体験を通じて地域社会に貢献できる若者を育成する

ふるさとまつり模擬店 2025年11月9日

今年もたくさんの方々が、温かいうどん・そばを求め、遊びに来てくださいました。同時販売しているワッフルも大好評、あっという間に完売。皆さまの美味しい笑顔を見ることができました。その笑顔に、私たち従事者はいつもパワーをいただいています！



家庭の日ポスター展 2025年11月19日 ～2026年1月5日

11月は内閣府が定める「秋のこどもまんなか月間」です。それに合わせて、各学校に協力していただき集めた児童・生徒たちの描く「家庭の日」のポスターを、明治市民センターの1階と4階のロビーに展示しました。

◇ 青少協ってこんなあつまり ◇

青少協は、明治地区の各小中学校の校長先生及び保護者代表、民生委員・主任児童委員、保護司、CSW、青少年指導員、会の趣旨に賛同してくださる協力者で構成されています。月1回の全体会議では、学校の様子や活動の報告、企画の状況、子どもを取り巻く問題などの情報交換を行っています。各行事の企画会は随時開催しています。

書き初め大会 2026年1月6日 参加者 65人



まっさらな半紙に向き合い慎重に筆を下ろす一画目、緊張しますね。二人の先生にご指導いただきながら、子どもたちはけんめいに大作を書いています。

書き終えた子どもたちに久しぶりにお汁粉を振る舞いました。美味しそうに食べてくれて嬉しかったです。

鈴木市長が見学を訪れ、子どもたちと一緒に作品を仕上げました。



わかざりづくり 2025年12月26日 参加者 28人

お正月の玄関先を飾る「わかざり（輪飾り）」は、地域の方に教わりながら、稲わらを縛って作ります。始めは上手に出来なかった子も、夢中になって手を動かして、皆自分のわかざりを完成させました。

「来年もやりたい」と言ってくれる子がいました。達成感か楽しかったのか、私もそれを聞いて来年も参加したいと思うとともに、何でも買える今、あえて稲わらから自分の手で作ることに意味を感じました。



作品出展 41点

参加者 49人

- 明治小 10人
- 羽鳥小 28人
- 八松小 2人
- 明治中 1人
- 羽鳥中 8人